

□ アナリスト週間相場予想

	金 Gold	白金 Platinum
江崎		
西		

Pick up News

[注目スケジュール]

- 5/30 ユーロ圏消費者物価指数、ユーロ圏雇用統計
CFTC建玉明細
- 6/ 2 米ISM製造業景況指数
- 3 ユーロ圏GDP第1次速報、ユーロ圏生産者物価指数
- 4 米ISM非製造業指数
- 5 米新規失業保険申請者件数、BOE・ECB政策金利発表
- 6 米雇用統計、

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京金先日足にボリンジャーとRSIを加えたものである。ボリンジャーの2 Σ とマイナス2 Σ の傾きが緩やかである事から金はレンジ相場の中にあるといえる。単純なパターンでみると上限3141円(4/18)、下限2880円(4/1)。ボリンジャーの本日前引け時点で見ると上限3145円(2 Σ)、下限2874円(マイナス2 Σ)となっており、概ね2880円~3140円のレンジであるといえるだろう。そして14本終値RSIは56.52となっておりまだ売られすぎ感はなく、方向は下降トレンドを表している。ターゲットを2900円所に置いて売り方針で対処したい。白金については金売りのヘッジとして買いポジションを持ちたいが、枚数に注意したい。本日算出の理論ボラティリティは一枚につき金69332円、白金157256円となっており、白金のボラティリティが一枚当たりで金の約2.27倍となっている。よってスプレッドを組む場合は金2枚に対して白金1枚という倍率ベースとは反対の組み合わせとなる。商品全体の調整感が強まっている現在スプレッドで仕掛ける選択肢が安全策といえるだろう。(5/30 前引け現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

米耐久財受注の底堅い内容とインフレ懸念から、為替市場ではにわかに米利上げ観測が持ち上がり、これがドル買いを強力に後押ししている。ドルは主要通貨に対して急速に持ち直しており、コモディティ市場に多大なる影響を与えている。次回の米FOMCは6/24~25の予定で、それまでには6/6の米雇用統計の発表が控えているほか、月半ばからは米金融機関の四半期決算に向けた業績修正が出始めるとの見方もあり、楽観的なドル買いがどこまで進むかは不透明である。ユーロ圏の経済指標との比較も為替市場ではテーマとなりそう。ドル/円で見れば、106円台に乗せると107円台半ばまでは値が軽そうだが、輸出業者の想定レートが105円であり、為替予約がまだ終わっていないと予測されることを考えれば、同水準は近いように見えて遠いのが現状であろう。

為替もさることながら、気掛かりなのは原油相場の動向である。米議会では投機筋(インデックス・ファンドを含む)の存在によって、商品価格の高騰がもたらされてとして、流れは規制強化の方向にある。米商品先物取引委員会(CFTC)は需給によるものとの認識を掲げていたが、どうやら圧力に屈した様子。今後の動向を見守る必要があるが、建玉規制などの判断が下されれば相場には明らかにマイナスとなる。

貴金属に限ったことではないが、相場の雰囲気が変わり始めており、ポジション管理には注意を要する局面である。バランス重視で望むべきであろう。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年6月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年6月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 商品取引所ビル2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)